

# 第83期中間報告書 BUSINESS REPORT

2025年4月1日～2025年9月30日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

## 社長ごあいさつ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、株主の皆様に対処するご理解を一層深めていただくため「第83期中間報告書」を作成いたしました。当社の業績や最近の取り組みなどをまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長 **村上 太郎**

### 経営理念

私たちは、社業を通じて  
「人の役に立つ」村上開明堂を  
目指します。

### ビジョン

みえる安心が  
あなたをもっとアクティブにする

「みえる安心」で人々の行動はより広がりより自由になれる。  
私たちは、「人の役に立つ」の経営理念の下、  
見えないことによって生じる生活の中での  
不安やためらいをみえる技術で解消し、  
すべての人がアクティブに行動できる  
社会の実現を目指します。

### 社 是

#### 健康

健全な精神は  
健康な体に育まれる。  
会社の発展も、  
社会への奉仕も、  
個人生活の安定もすべて  
健康であることから始まる。

#### 信頼

おたがいに信頼し合うことがすべての根本である。  
礼儀正しく、相手の立場を理解して  
確実な仕事をしよう。  
そこから信頼が生まれる。  
常に業務の改善と自己啓発を心がけよう。  
向上もまた信頼につながる。

#### 親和

仲良く明るい職場を誇りとしよう。  
ルールと秩序を守り、感謝と反省を忘れず  
集団の中で個性を活かす工夫と努力を重ね、  
仕事を通して個人の理想をも成しとげよう。

健康

信頼

親和

## 事業紹介

### 自動車用製品

村上開明堂の自動車用バックミラーは国内トップシェア。独自の技術開発力と提案力で先進の機能を提供し、自社一貫生産により高いQCD（品質・コスト・納期）を実現。60年以上にわたり自動車の安全・安心・快適に貢献しています。



ドアミラー  
＋  
サイドターンランプ



電子インナーミラー



プロジェクションカーシート  
イルミネーション

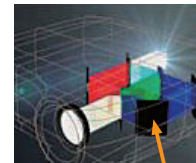
自動車用バックミラーで培った技術を応用し、OA機器・車載機器・映像機器などの多様な分野に光学薄膜製品を提供しています。お客様のニーズに応じて、ガラスや樹脂に光の透過・反射・偏光などの機能を付与する柔軟な開発力が特徴です。

### 主な オプトロニクス製品

#### ■ 身近に広く活用されるオプトロニクス技術

##### 映像機器

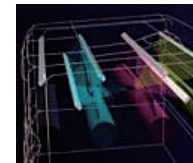
〈製品用途〉プロジェクター、  
デジタルカメラなど



ダイクロイックミラー

##### OA機器

〈製品用途〉スキャナー、  
プリンタ、複写機など

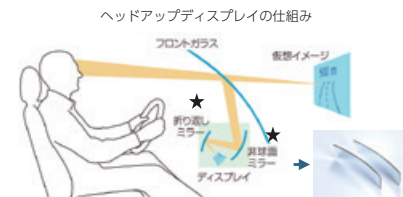


高反射ミラー

##### 車載機器



ヘッドアップディスプレイ



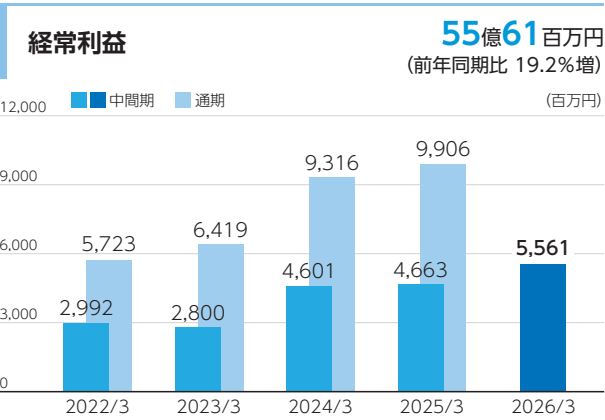
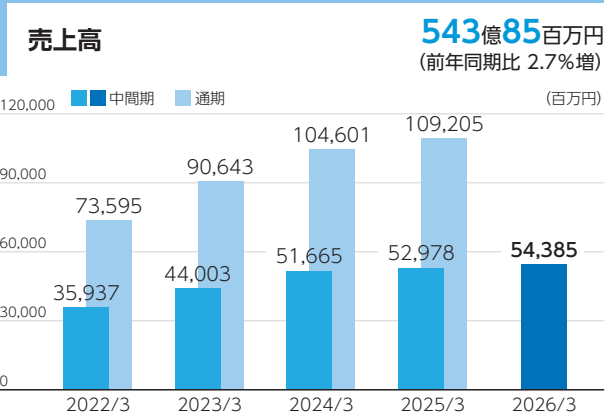
★ 当社製品  
製品内部レイアウト

### 新たな事業への 取り組みの紹介

#### ■ “光るカーブミラー” で事故リスクを低減

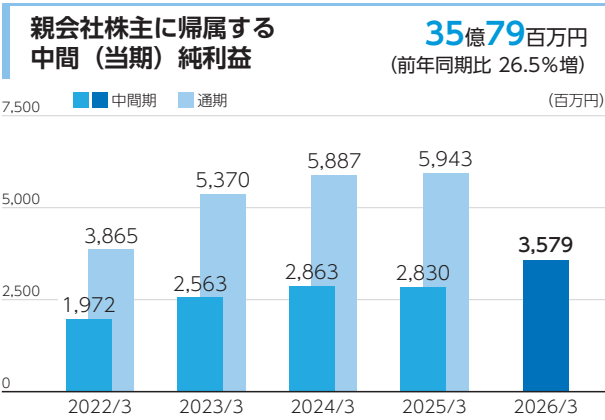
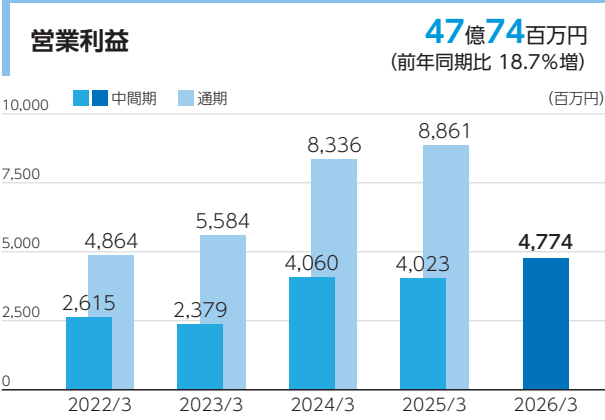
信号のない交差点に車や人が近付くと、カーブミラー外周が点滅し、注意と減速を促します。藤枝市を中心に事故の多い交差点、学校近隣や通学路への試験設置を進めております。行政・企業と共創し、地域の安全・安心に貢献したいと考えます。  
(試験設置台数：行政13カ所、企業12カ所)



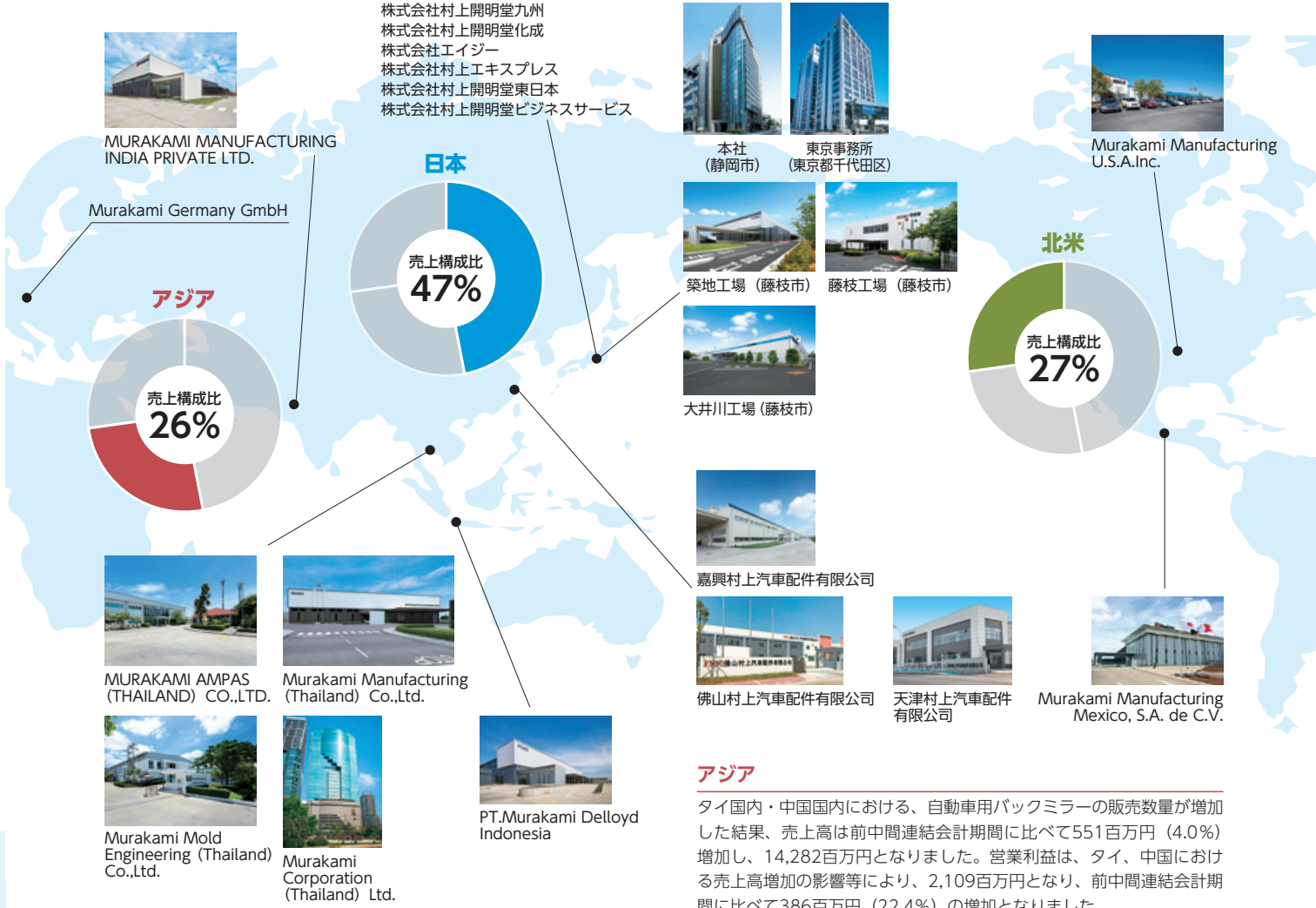


連結損益の増減

- 売上高  
当中間連結会計期間の業績につきましては、自動車メーカーの「認証不正問題」に伴うライン停止の影響があった前年に比べて、自動車用バックミラーの販売数量が増加し、売上高は54,385百万円となり、前中間連結会計期間に比べて1,407百万円（2.7%）の増加となりました。
- 営業利益  
営業利益は、日本において労務費・経費等の増加があったものの、売上高の増加により4,774百万となり、前中間連結会計期間に比べて751百万円（18.7%）の増加となりました。



- 経常利益  
経常利益は5,561百万円となり、前中間連結会計期間に比べて897百万円（19.2%）の増加となりました。
- 親会社株主に帰属する中間純利益  
親会社株主に帰属する中間純利益は3,579百万円となり、749百万円（26.5%）の増加となりました。



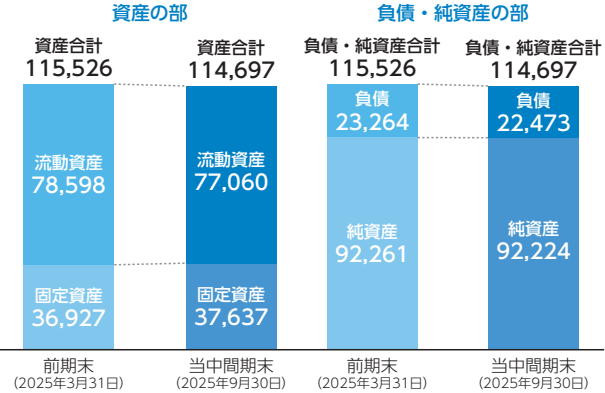
**日本**  
自動車メーカーの「認証不正問題」に伴うライン停止の影響があった前年に比べて、主力の自動車用バックミラー等の販売数量が増加した結果、売上高は前中間連結会計期間に比べて821百万円（3.3%）増加し、25,430百万円となりました。営業利益は、労務費・固定経費の増加等の影響により、739百万円となり、前中間連結会計期間に比べて302百万円（29.0%）の減少となりました。

**アジア**  
タイ国内・中国国内における、自動車用バックミラーの販売数量が増加した結果、売上高は前中間連結会計期間に比べて551百万円（4.0%）増加し、14,282百万円となりました。営業利益は、タイ、中国における売上高増加の影響等により、2,109百万円となり、前中間連結会計期間に比べて386百万円（22.4%）の増加となりました。

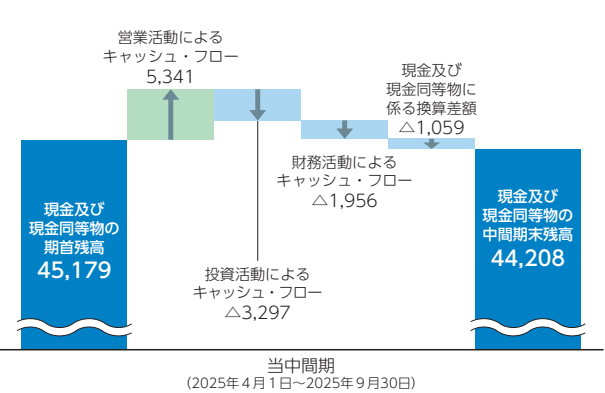
**北米**  
主にメキシコにおける自動車用バックミラーの販売数量増加も、為替の影響により、売上高は前中間連結会計期間に比べて34百万円（0.2%）増加に留まり、14,673百万円となりました。営業利益は、売上高増加等の影響により、1,453百万円となり、前中間連結会計期間に比べて556百万円（62.1%）の増加となりました。



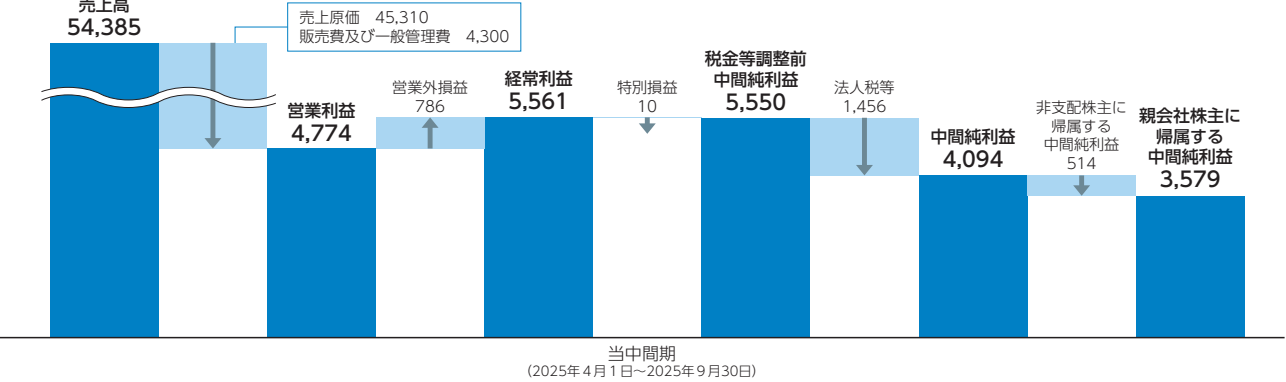
連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書

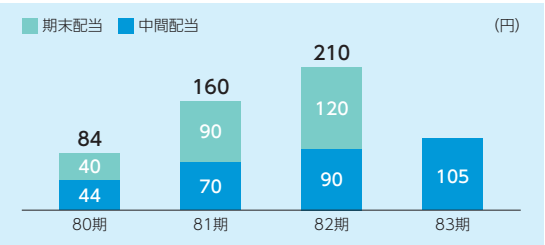


連結損益計算書



中間配当金について

中間配当につきましては、11月11日開催の取締役会におきまして、1株につき105円と決定いたしましたので、お受け取りいただきますようご案内申し上げます。



【能登復興支援①】 能登福祉コンサート開催

当社は4月11日、石川県七尾市にて社会貢献活動の一環として「能登福祉コンサート」を開催いたしました。

能登半島地震から1年経った今、被災地で本当に必要とされている支援は何であるか、現地でのヒアリングを重ねる中で“心のケア”がより必要なことがわかりました。当社では、静岡で毎年開催している福祉コンサートを能登で行うことが、ひと時の心の癒しになるのではと考え、輪島市と七尾市の福祉事業所の方を合計140名ご招待したコンサートを開催いたしました。

本コンサートでは静岡県内企業のはごろもフーズよりギフトセット提供を、河合楽器製作所よりカワイ最高峰のグランドピアノ「Shigeru Kawai」の手配をしていただき、“オール静岡”での復興支援イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。今後も能登支援活動を続けてまいります。



【能登復興支援②】 ドリップバッグコーヒーの購入

当社は能登半島地震の被害に遭われた輪島市の福祉施設「特定非営利活動法人 あすなろふたばばいんの会」で焙煎したドリップバッグコーヒーを購入し、当社社員である関谷さんの作品が描かれたパッケージに詰めた当社オリジナルノベルティを製作しました。淹れて美味しい、目で見て楽しいノベルティになっており、関係者のみなさまに進呈していく予定です。

このコーヒー購入はこれからも継続していく予定で、能登のみなさまの復興支援の一助になればと願っております。



会社概要

商号株式会社村上開明堂

設立1948年3月27日

資本金3,165,445,000円

事業内容自動車用バックミラー、ファインガラスの製造及び販売

従業員数連結：3,669名 単体：947名

役員

取締役

取締役社長  
(代表取締役) 村上 太郎

専務取締役 長谷川 猛

常務取締役 糟谷 篤

取締役 平沢 方秀

取締役 松田 裕昭

取締役 島村 昌宏

取締役 前田 健太

※取締役 力石 晃一

※取締役 足羽 由美子

※取締役 後藤 康雄

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

監査役

監査役 増井 邦夫

※監査役 櫻井 透

※監査役 興津 哲雄

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 星野 立法

常務執行役員 青島 祥訓

常務執行役員 石垣 昌之

執行役員 池ヶ谷 義信

執行役員 曲淵 浩

執行役員 藤本 晋

執行役員 幅 舘章

執行役員 大澤 晃一

株式情報

発行可能株式総数..... 29,900,000株

発行済株式の総数..... 12,100,000株

株主数..... 8,294名

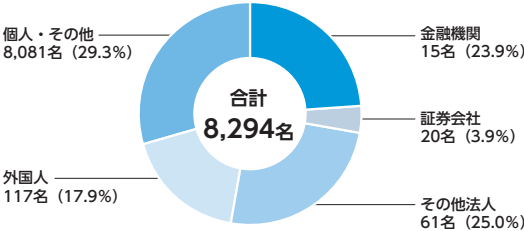
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	16.0
村上太郎	1,460	12.6
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	703	6.0
株式会社三菱UFJ銀行	582	5.0
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.9
株式会社静岡銀行	459	3.9
立花証券株式会社	431	3.7
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.4
明治安田生命保険相互会社	347	3.0
スルガ銀行株式会社	337	2.9

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
2. 出資比率は、自己株式514,747株を控除して計算しております。  
3. 当社は自己株式514,747株を保有しておりますが、上記「大株主」から除いております。

株式分布状況

<所有者別>



(注) ( ) 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。  
<https://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

